

# 石島会計メモ



2019年5月号

中央区日本橋本石町 4-5-12  
友泉本石町ビル 3階  
石島公認会計士事務所  
(03)3275-1311  
発行責任者 石島慎二郎

## マイナンバーは今

### どのくらい普及しているか

マイナンバー制度は2015年10月から始まり、今年で4年目を迎えることとなります。当初、政府は2019年3月末までにマイナンバーカードを8,700万枚交付することを目標としていましたが、実際は1,600万枚。普及率は12%程度にとどまっています。

住民票に登録されると通知カードが発送されますが、そもそも通知カードが届かないケースが多く、開始1年で約170万通の未着が出たそうです。通知カードに有効期限はないのですが、差出人に届かず保管に困り、廃棄してしまった地方自治体もあります（その場合の再交付には申請が必要）。届いてから紛失・廃棄された通知カードも相当数あると思われます。

### 通知カード廃止？

不遇の通知カードですが、2019年3月にはついに廃止を含む法案が国会に提出されました。従来は通知カードと引き換えにマイナンバーカードを取得する仕組みでしたが、改正案では、通知カードとは別の方法でマイナンバーを通知する仕組みになるとされています。

通知カードが届いたとしても、マイナンバーカードに引き換えている人が少なく、理由としては「必要性を感じられない」「個人情報の漏えいが心配」といった声があがっているのです。それだったら通知カードを廃止してしまおうというわけです。

「必要性を感じられない」との理由に関して、実際のところ、私がマイナンバーカードを取得し便利だと思ったのは、仕事上で急に印鑑証明書や住民票が必要になったときに、コンビニで取得できたときだけでした。「これは便利！」と印象的でしたが、それだけといえればそれだけ、人目の多いコンビニ内で周り



から丸見えの画面に暗証番号を入れなければならないときは、ビクビクしたことをよく覚えています。正直、マイナンバーカードを必ず取得した方がよいとするメリットは見当たりません。

## 個人情報の漏えいが心配

もともとマイナンバーは税金と社会保障の手続きを行いやすくするために開始された制度でした。税金に関しては、すでに年末調整の際の扶養控除等申告書や確定申告で書いた（提出した）という方が多いと思います。社会保障に関しては、社会保険の手続きで必要になってきますが、現在はマイナンバーカードを保険証として利用できるように審議している段階です。

保険証として使えば便利かもしれませんが、そこで心配されるのは病歴などが漏えいしないかということです。どうやっても絶対はないかもしれませんが、最大限のセキュリティをお願いしたいものです。



## マイナンバーへの不信感も

銀行口座や証券口座への登録も求められています。現在、銀行口座は任意ですが、証券口座に関しては、2018年12月末までにマイナンバーを証券会社に告知する義務がありました。「義務」なのに、告知しなかった場合のペナルティがなく、告知した割合は40%程度だったそうです。あまりに低いため、ひっそりと告知義務が3年延長されています。これでは、真面目に告知した人からすれば不公平です。こんなことをしているから不信感が生まれ、ますます普及が進まないのではとってしまいます。

## マイナンバーの今後

今後、マイナンバーカード使用により住所変更などの行政手続きが楽になったりポイントが付与されたりと、政府はマイナンバーカードの普及を推進するための施策を予定しています。しかし、どれだけメリットを感じる人がいるかといえば、かなり限定的なのではないでしょうか。

罰則を設けて強制的に進めなければなかなか普及率は上がらないでしょうから、政府の目指す普及率にはまだまだ相当の時間を要しそうです。とはいえすべての人に関係することですから、今後もマイナンバーの動向は無視できないところです。

(文章 石島慎二郎)





## ボルダリングを体験してきました

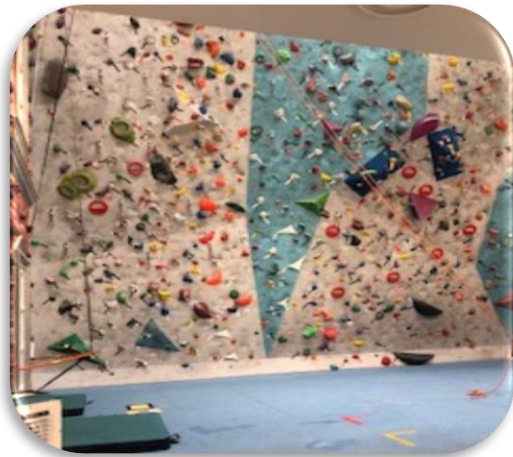
文章 市村渚

トURREOPクライミング、ボルダリングの施設ができたので、早速行ってみようということになり、チャレンジしてきました。馴染みの薄いスポーツに感じられますが、ボルダリングは、東京オリンピックの正式種目にも選ばれました。

まず、着替えを済ませ、専用シューズを履きます。靴の中で指がギリギリ曲げられるくらい、かなりきつめがベストサイズです。靴底は写真のように、凹凸がなく、つるつるとしています。



足とウエストには、ハーネスをしっかりと装着します。これは、トURREOPクライミングの時のためのものです。真ん中の輪に両足を通し、外の輪をウエストに装着します。これで、準備完了です。



### <トURREOPクライミング>

最初は、トURREOPクライミングに挑戦しました。約8メートル、ビル3階の高さを登っていくので、安全のため、ロープをハーネスのウエスト部分にある輪に装着します。装着したら、ホールドと呼ばれる岩のような突起物を登っていくのです。両手足、同じ色のホールドだけを選んで頂上を目指します。スタートのホールドを両手で掴み、マットから体を離

したら、次のホールドに腕を伸ばして登っていきます。ゴールのホールドを両手で掴み、2秒静止できたらクリアとなります。ただ登るだけだから余裕！とっていましたが、いざ登ってみると、足も腕も力が必要で、スポーツをなめてはいけな...と思ひ知らされました。下から、足は次そこ！手はそっち！などインストラクターの方が声をかけてくださいます。むりー！！と何度も絶叫しながらも、無事ゴール！！ホールドから手を離し、軽く壁を蹴って、下に降ります。私は、ここでホールドに膝を強打...最後まで気を抜いてはいけな...と身をもって学びました。そして、降りると

きに、予想を遥かに越えて高い所まで登っていたことに気がきました。登ることに必死で、高さを感じていなかったのが驚きました。2つのレベルをチャレンジしましたが、初心者かつ普段運動不足の私でも両方とも無事クリアできました。

## <ボルダリング>

その後は、ボルダリングに挑戦です。クライミング後で、手も足もプルプル…そんな状態でしたが、待ってはくれません。間髪入れず、すぐにチャレンジ開始です。

ボルダリングは、トップロープクライミングの半分くらいの高さを登ります。ただし、ロープを付けずそのままの状態に登ります。

また、場所によって、角度が違うので、急斜面の所では難易度が増します。見ているだけで、落ちる恐怖でいっぱいになりましたが、気合いを入れて挑戦です。

ルールは、基本的にトップロープクライミングと同じです。ただ、ホールドの色ではなく、その横に貼られたテープの色を見ます。また、トップロープクライミングとは異なり、両手だけ同じ色のテープのホールドを選び、両足はどのホールドを選んでも良いことになっています。とは言え、ロープがない不安と、壁に角度があるので、なかなか難しかったです。個人的には、ボルダリングの方が難しいと感じました。こちらも、2つのレベルをチャレンジして両方ともクリアできました。



その後は、フリータイムとなったので、みんなでゴールまでの早さや、レベル8まである難易度を競って、時間いっぱいまで遊びました。勝負なので、年甲斐もなく、全員本気です！！隣にいた、ちびっこクライマーの冷たい視線…忘れません。

日頃の運動不足に加え、普段使わない筋肉を使ったので、筋肉痛を覚悟していましたが、当日、翌日も来ず…まだ来ない、まだ来ない。老化現象で、もっと後になって来るのかと思っていましたが、結果、筋肉痛にはなりません。途中、強打した膝の痛みは、凄まじかったです…普段、運動とは無縁ですが、無理なくできそうです。また、体幹も鍛えられるそうです。

まだまだ、できる施設が少ないですが、事前に揃える道具もなく、比較的、初心者でも始めやすいので、機会があれば、ぜひ挑戦してみてください。私も、日々の運動不足解消に、また行ってみようと思います。